

フォスタリングチェンジ・プログラム ファシリテーター養成講座

ファシリテーター養成講座は、フォスタリングチェンジ・プログラムを実施する
ファシリテーターとなるための4日間のコースです。

- 里親のもとにいる子どもの養育についての悩みに肯定的に取り組みたい。
- 他の養育者さんの経験や考えを聞いてみたい、繋がりたい。
- 里親さんと一緒に問題を見つけ対応できるような、効果的な方法を知りたい。
- 子どもとの関係をより良くする力をつけたい。

このような悩みや課題を効果的に改善できる
里親養育に特化した方法を学んでいくプログラムです。

2024年1月29日30日、2月5日6日開催

(全4日間 参加必須)

- 1月29日、30日⇒対面講座 開催場所:東京 二葉乳児院
- 2月5日、6日⇒オンライン講座 オンライン:ZOOM使用

【時間】・初日 10:00～17:30 予定 ・2日目以降 9:00～17:00 予定

■定員:18名

(参加者多数の場合は、参加条件を満たしているかなどの選考上で先着順となります。また、定員に満たない場合は開催を見合わせる可能性があります)

■参加費: 80,000円 実施マニュアル、テキスト、資料代含む

【企画アドバイザー】

・松崎 佳子 氏

(広島国際大学特任教授、臨床心理士・公認心理師、SOS子どもの村JAPAN理事)

・上鹿渡 和宏 氏

(早稲田大学人間科学学術院教授、児童精神科医、博士:福祉社会学)

■お申し込み方法

右のQRコードにて、フォスタリングチェンジ・ジャパンのホームページより
詳細を必ずご確認ください、お申し込みボタンよりお願い致します。



—— 対象 ——

里親支援に関する機関の方。里親支援に関わる方で、受講後プログラムの実施が可能な方等。例:フォスタリング機関、里親支援センター職員、施設の里親支援専門相談員など

【主催】(一社)無憂樹



フォスタリングチェンジ・プログラムについて

フォスタリングチェンジ・プログラムは、アタッチメント理論、社会的学習理論、認知行動理論に基づき、ペアレントトレーニングの考えも取り入れて1999年にロンドンのモーズレイ病院の専門家チームによって開発されたものです。

その後、現場での実践と評価を経て2011年に改訂版のマニュアルが出版され、これに基づいた無作為化比較試験(RCT)が2012年に実施されました。

社会的養護下にある子どものかかえる問題、特に様々な虐待の影響に配慮した子どもの理解とそれに基づく対応について、子どもの長所に焦点をあて、育み、承認し、実践的なスキルを学び、家庭で実践するプログラムです。さらに、効果的な褒め方やアテンディング、限界設定やタイムアウトなどについて学びながら実践し、里親自身が自分で考え対応できるようになることを目指すプログラムとなっています。

フォスタリングチェンジ・プログラムの内容(通常版)

①グループの立ち上げ、子どもの行動の理解と記録

②行動に影響すること、先行する出来事と結果

③効果的に褒める事

④肯定的な注目

⑤自分で感情をコントロールするためのコミュニケーションスキル

⑥子どもの学習を支える

⑦ご褒美とご褒美表

⑧指示を与えること、選択的に強化をしないこと

⑨肯定的なしつけと限界設定

⑩タイムアウトと問題解決のための方法

⑪まとめ喪失への対応

⑫今後についてと養育者自身のケア

※養成コース終了後も、各地域でのプログラム実践につなげるため参加者によるフォローアップミーティングも実施されます。また、思春期版の講座も行われています。 [詳細はホームページへ。](#)

参加者の声

★どのような研修なのか緊張しながらの参加となりましたが、トレーナーの方々の温かい指導の下、多くの事が学べた研修になりました。

★理論について、グループワークやロールプレイなどにより体感することで、具体的に学ぶことができた。

★全国各地から参加されて、経験豊富な方々のお話を聞くことができ、大変勉強になりました。

★濃い内容だったが、研修内容が充実しており、学習意欲の途切れない研修だった。

★里親養育に沿った内容で、実践的でとても良かった。

一般社団法人 無憂樹のホームページは
こちら(こちらかもお申込みできます)

